

一般質問通告書一覧

令和元年度新城市女性議会
令和元年11月27日

新城市

令和元年度新城市女性議会一般質問通告者順序表

11月27日(水) 午後1時～

- 1 市村 照代 議員 (通告時間15分)
 - ・ 市民の足について
- 2 荻野 孝子 議員 (つくしんぼうの会) (通告時間15分)
 - ・ 介護保険外の生活支援の充実について
- 3 入山 厚子 議員 (東三にじの会) (通告時間15分)
 - ・ 性的少数者LGBTに対する取り組み状況について
- 4 カークランド 陽子 議員 (通告時間15分)
 - ・ 外国人観光客受け入れ体制について
- 5 松井 暖実 議員 (通告時間15分)
 - ・ 若者に向けた情報発信について
- 6 中村 桃菜 議員 (通告時間15分)
 - ・ 障がい者に対する正しい理解について
- 7 峯田 美典 議員 (通告時間15分)
 - ・ 誇れるまちづくりのために 私達ができること
- 8 宮原 トシコ 議員 (通告時間15分)
 - ・ 新城に暮らす外国人と日本人の交流について

女性議会一般質問通告書

氏名 市村 照代

テーマ	市民の足について
現状・課題 提案事項	<p>私は、30年程前に交通の便の良いところから新城に嫁いで来ました。</p> <p>地図上では、駅の近くだから便利だと思っていたら、坂はあるは、飯田線は1時間に1本あるかないか・・・。</p> <p>子供ができて病院や検診に行くのに自動車免許がないため、主人にお願いして連れて行ってもらっていました。自宅へ帰る時のことを考えると、出かける気にもならず、陸の孤島のように感じていました。</p> <p>今は免許を取り、自由に出かけることができるようになりました。しかし、病気やケガで運転できなくなることもあります。</p> <p>周りにも年を取って運転を控えたいと思っている人も増えてきました。病気やケガで一人になって移動困難になると、施設に入ったり子供のところに引っ越す人も出てきています。</p> <p>また、Sバス北部線のルート変更があり、家の近くにSバスのバス停ができましたが、ルートが遠回りのため目的地まで時間がかかることや、土曜日、日曜日も運行していなかったりで、今のSバスの運行ではとても利用者のニーズをカバー仕切れているとは思いません。</p> <p>そこで、質問させていただきます。</p>
質 問	<p>(1) 今は市の周辺部から中心地への運行だけですが、どこかで少し待てば他地域へのバスや電車で乗り換えられるようになりませんか。</p> <p>(2) 軽トラ市や文化会館の行事がある時は運行がありません。将来的にでもいいので、運行をお願いします。</p> <p>(3) もし地域で助け合っって移動手段を考えたとき、市として助言や手続きや経費の支援はしていただけますか。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 荻野 孝子 (つくしんぼうの会)

テーマ	介護保険外の生活支援の充実について
現状・課題 提案事項	<p>私は、鳳来地区で生まれ育ち、そして嫁ぎ、今は、この地をこよなく愛し、終の住処と思い描きながら暮らしております。</p> <p>今から二十数年前、JAが農村の高齢者対策として女性部員を対象にヘルパーの養成研修を行い、多くの部員が参加しました。私も家族の為に又自分自身の為にと軽い気持ちで参加しました。平成10年には、50名余りの研修終了者があり、折角学んだ知識や技術を少しでも地域で役立てたいという声上がり、JAは助け合い組織を設立しました。当時のJA愛知東は、作手村農協、新城市農協、鳳来町農協が合併し、会員も各地に散らばっていたので、会の名称はそれぞれの市町村の頭文字を取って「つくしんぼうの会」としました。</p> <p>誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けたいという願いを叶えるために、という思いをもってスタートしました。</p> <p>その後、平成12年には介護保険が導入され、若い会員はそちらの方へ移行し、現在は32名で活動しております。</p> <p>虚弱な高齢者を社会全体で支える為にスタートした介護保険も20年足らずで何度も制度の見直しが見直しがされ、認定度が年々厳しくなる現状です。</p> <p>そうした中で、私たちつくしんぼうの会は、設立当初から介護予防さらに予防医学の大切さを実感し、行政と連携し、介護予防事業を会の柱として活動してきました。それが現在市内23カ所年間200回開催している「いきいきサロン」です。そして、健康な体作りに欠かすことの出来ない安心安全な食の提供も併せて行ってきました。</p> <p>ところが、ここ1、2年、以前から行っております介護保険外の家事援助サービスの依頼が急増し、対応に苦慮しております。各関係機関や利用を希望されるご本人からの問い合わせが多いです。現在は何とかやりくりしていますが、こうしたニーズの受け皿が新城市には不足しているように思います。</p>
質 問	<p>(1) 今後、さらに厳しくなる介護保険の給付等を考慮して、保険外の生活支援をどこがどの様に対応してゆけばよいのでしょうか。目前に迫っている超高齢社会に、今考えるときではないでしょうか。</p> <p>(2) 例えば、在宅生活が不安になったときに、気軽に利用できる生活支援ハウスはどうでしょうか。入退居がしやすく、介護認定に関わらず入居可能で、夜間宿直による見守りや食事の提供が可能な施設の検討をお願いします。</p> <p>(3) 介護保険外の家事援助サービスをサポートするための研修会の開催は可能でしょうか。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 入山 厚子 (東三にじの会)

テーマ	性的少数者LGBTに対する取り組み状況について
現状・課題 提案事項	<p>私は、平成2年と3年に愛知県の地域婦人問題開発事業研究会に参加しました。その翌年から、東三河出身の終了生でつくる「東三にじの会」の一員として、男女共同参画の啓発活動を行っています。</p> <p>さて、最近テレビを見ていて、男の人？女の人？と分からない人が多く出ています。芸能人でも若い人は知らないかもしれませんが、「おすぎとピーコ」さん、ちょっと年をとったけどきれいな「はるな愛」さん、ズバツと言うところが気持ちいい「マツコデラックス」さんは大好きです。豊橋市出身の声優、三ツ矢雄二さんは「ゲイ」であることを公表し、いきさつが新聞に載っていました。もし、自分の身の回り、ましてや子ども、兄弟となったら、誰もがどう対応して良いのか戸惑うのではないのでしょうか。本人もどう生活していけばよいのか悩むでしょう。</p> <p>性的少数者という意味のLGBT、多様性という言葉をよく耳にするようになりました。私たち、東三にじの会でも、前年度の総会でLGBTの方を講師にお招きし、当事者としての貴重なお話を伺うことができました。私は、この時、LGBTという言葉を知りました。</p> <p>それから注意して新聞テレビを見ていますと、LGBTに関連している事例が多いのに気付きました。最近の例を挙げてみると、西尾市が性的マイノリティの人たちを対象とした「パートナーシップ宣言制度」を導入。中部地方では、長野、滋賀が来春以降の県立学校の入学願書などの性別欄を削除。岡崎、豊川、豊橋市役所での職員研修。一宮市教職員研修、豊明市講習会、蒲郡市・名古屋市では高校への出張授業。県では教育長が県議会での質問に対し、性別を分けない制服導入を促進する考えを示しました。</p> <p>LGBTの割合は、12人に1人いると言われていています。子どもの間では、ちょっと変わっているからといっていじめにつながる恐れがあります。大人も心を閉ざし、苦しむことでしょう。今後、いろいろな人たちがいることを考えて、私たち市民、市職員、学校関係者へのLGBTに対する理解啓発が大切になってくると思います。</p>
質 問	<p>(1) 現在、第2次新城市男女共同参画プランを策定しているとお聞きしましたが、LGBTに関する項目を入れることは考えていますか。</p> <p>(2) 昨年、東三にじの会でさまざまな項目の自治体調査を実施した中で、小中学校における男女混合名簿の実施調査がありました。豊橋市では全校実施。新城市を含むほかの市は各学校に任されており、一部に限られていました。当たり前、都合</p>

が良いなどいろいろあるかと思いますが、新城市における混合名簿の現状と今後の取り扱いについて教えてください。また、混合名簿になっていない場合、できない理由があれば伺いたいです。

- (3) 広報ほのかに相談名がたくさん掲載してありますが、どこに聞けばよいか迷うことが多々あるかと思います。電話相談の総合案内を作って、例えばこんな困りごとはこちらに電話してみてもどうかと教えてくれたりする対応ができるようにならないでしょうか。

女性議会一般質問通告書

氏名 カークランド 陽子

テーマ	外国人観光客受け入れ体制について
現状・課題 提案事項	<p>私は千葉県で生まれ育ち、結婚後10年ほどロンドンに住んでいましたが、私の父が生まれ育ち私自身も幼少時代より毎年訪れていて思い出深いここ新城に4年ほど前に主人と娘と3人で引っ越してきました。</p> <p>私は、消滅可能性都市と言われている新城市が生き残る方法の一つは、外国人観光客の誘致だと信じているのですが、県外・海外からの視点をもつ私から見る新城は、自然・文化・歴史の3拍子が揃った本当に魅力的なところで、海外の人もきっと来れば喜んでくれるに違いないとずっと感じておりました。（外国人がたくさん訪れることに伴う問題もたくさんあることは承知しておりますが）</p> <p>ありがたいことに昨年、NCアライアンスの実行委員の一人に選んでいただき、その際にこの思いを様々な提案とともに述べさせていただき、幾つか採用もしていただきました。</p> <p>そして、アライアンスの最後の会議の際には、今回決めた幾つかのことを今回限りで終わらせるのではなく、今後の観光客受け入れの土台として、引き続き継続維持して行ってほしいと述べさせていただきました。</p> <p>そこで質問です。</p>
質 問	<p>(1) 公共の場や宿泊施設などの無料WiFi や英語での説明や表記などの基本的な受け入れ体制の現状は？</p> <p>(2) 私は新城の魅力の一つは歴史ある街だということだと思っており、特に観光客誘致のためには古い町並み（古民家や古民家風・昭和レトロなどの家屋や建造物）を残した方が良いと思っておりますが、年々少しずつ便利であることのみがフォーカスされて中途半端に近代的になってきて新城の良さが損なわれてきていると感じるのですが、そのことについてのご意見をお聞かせください。</p> <p>(3) アライアンス会議の際に作った観光ツアーなどは、申し込みがあればすぐ稼働できるようになっているのでしょうか？なっているとしたら、窓口はどこですか？またそれはネットなどで検索すれば外国人がすぐ見つけられる状態になっていますか？</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 松井 暖実

テーマ	若者に向けた情報発信について
現状・課題 提案事項	<p>私は、新城の栄町で生まれ育ちました。この地域は三世代交流会やお祭りが盛んで、人と人との距離が近く、そんなまちが私は大好きです。</p> <p>小さい頃からおじいちゃんやお父さんが新城のためにさまざまな活動をしている姿を見て、自分も何かをしたいと思っていました。</p> <p>しかし、小さい頃から恥ずかしがり屋で、自分から新しいことに挑戦するのが苦手だった私は、なかなか行動に移せませんでした。</p> <p>しかし、中学3年生の時に学校で若者議会の方が開いてくださったワークショップはとても楽しく、自分も挑戦してみたい気持ちが増しました。</p> <p>高1の時に、若者議会に入っている先輩から福祉のボランティア活動に誘われましたが、一人では自信がなく断ってしまいました。</p> <p>自分からの一歩が出せない、だからといって誰かを誘うこともできず、結局何もできずにいました。</p> <p>高校2年生になった今年、おじいちゃんが一緒にやってみないかと誘ってくれて、市民まちづくり集会実行委員会に参加することができました。始めは、大人の中で発言するのも怖くて、話を振ってもらわないととても自分からは発言できませんでした。周りの人ともなかなか話せず、おじいちゃんの隣の席から離れられませんでした。回を重ねるうちに自分から発言できるようになり、周りの人とコミュニケーションがとれるようになりました。自分が発言した意見を周りの人から認められてとても嬉しかったことを覚えています。</p> <p>私は、おじいちゃんの後押しがあっただけで一歩を踏み出すことができましたが、なかなか一歩が踏み出せなくてやれない子もいると思います。また、情報が少なすぎてやりたくてもやれていない子もいます。</p> <p>私は中学生の時に若者議会の方が開いたワークショップで使用した資料が、とても見やすく分かりやすかったので、今でも鮮明に覚えています。ワークショップ限定の資料だったので、そういうものをもっと気軽にSNSで発信していただけると、興味を持つ人が増えたり、行動に移せる人が増えると思います。</p> <p>新城のこれからの為により効果のある情報発信をしていただきたいという願いから、以下の質問をさせていただきます。</p>

質 問	<p>(1) 新城市の情報発信の仕方として、広報ほのか、ホームページ、無線放送、フェイスブック等があると思いますが、実際、高校生は見ません。見ているのはインスタグラムです。若者議会始めまちづくりに参加したいと思っている学生が周りにいます。そういった学生が気軽に情報を得る方法としてインスタグラムで情報発信をしてくれませんか。</p> <p>(2) 自分たちも新城の情報発信に貢献したいので、学生たちに#shinshiro をつけて新城を広めてもらえるようお願いできませんか。</p>
-----	---

女性議会一般質問通告書

氏名 中村 桃菜

テーマ	障がい者に対する正しい理解について
現状・課題 提案事項	<p>私は、福祉施設で働いていました。</p> <p>毎日の仕事は、主に老人の介護で入所者の身の回りの世話を正社員として働いていました。そんな私は、障害者手帳を持つ知的障がい者です。</p> <p>周りの社員さんの理解はさまざまで、障がいに関係なく接してくれる人と、差別の目で見えてくる人がいました。</p> <p>今社会では、障がい者の積極的な雇用を推進しているのにも関わらず、現状は、障がい者に対して、苦手な内容と知っているのに、断れないのを知っているのに、無理な業務を与えてきて、それが出来ないと責められるようなことがたくさんあります。</p> <p>なぜ、こういう社会になってしまったのか。考えてみると、学校での健常者と、障がい者の関わり方に問題がある様に思います。</p> <p>私は、小学生の時に特別支援学級に入りました。ある先生から「あなたがいると授業の進みが遅くなる」と言われたこともあり、傷ついたことが記憶に残っています。ほかの友達と教室が分けられて、孤独を感じていました。障がいのある私自身も、なぜ教室が分けられたのか理解出来ないまま日々を過ごしていましたが、一度離れると、授業も違うので、ほかの友達も気を遣ってしゃべれなくなることもありました。私たちのような立場の子のことを正しく理解してもらいたかったです。</p> <p>障がいのある人を見下したり、孤独にさせるようなことがないように他人を思いやることを小さな頃から教えてほしいです。</p> <p>難しい仕事なども、健常者よりも時間はかかりますが、理解し、こなすことができます。（私はできるんです！）</p> <p>障がい者がもっと自分らしく過ごせる社会になって欲しいと願っています。</p>
質 問	<p>(1) 障がい者がもっと働きやすい環境になるように、障がい者を雇う企業側が、障がい者への対応の仕方などを必ず学ぶようにできませんか。</p> <p>(2) 小さな頃から、障がい者などを特別視することがないように、いろいろな人がいることを理解し、受け止められる心を養う教育をしてほしいですが、実際、小中学校では、どのように教えていますか。私は、他とは違う人だと思い込まされてきました。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 峯田 美典

テーマ	誇れるまちづくりのために 私達ができること
現状・課題 提案事項	<p>少子高齢化による人口減少問題は、避けては通れない社会問題となっていますが、作手地区においてもここ数年の出生数が激減しています。この現実を知った私は、6年前、友人に相談し「つくで・いいーらぁー」を立ち上げました。つくでに住んでいるみんなで「つくでっていいでしょ？って誇れることをしながら、作手をPRし、田舎暮らしを考えている人につくでっていいかも？って思ってもらえるきっかけを与えることにより、過疎化問題の解決につなげる会」です。</p> <p>そして私達は一緒に活動をしてくれる仲間を増やすために、まず「つくで・いいーらぁー」を知ってもらうことが必要であると考え、地域活動交付金を利用して「つくでの主役はあなたです！ハロウィン・パーティー」を開催しました。参加者からは「こういう楽しい交流の場を待っていた。これからも続けてほしい。」などの感想を頂き、楽しい交流の場を作ることが、私達が誇れるまちづくりにつながると感じ「謎解きゲーム・ダンス・逃走中」など、みんながやってみたくて実現できれば、さらに交流の輪が広がり、その想いも深まるに違いないと思いました。</p> <p>しかし一方では、主催者側の負担や準備などを手伝ってくれた仲間達の想いが様々であることも分かり、こうした活動を続けていくのは決してたやすいことではないと痛感し、私はどうしたら子ども達が楽しみにしてくれているハロウィンを続けていってあげられることができるのか？と色々悩みました。そして…</p> <p>振り返ってみると、私達の歩みは、まさに新城市自治基本条例の歳月と重なり、そのルールにある「地域がより魅力あるまちとなるよう、みんなが主役となって活躍できる場」を作りだすことができたのではないかと自負していますが、そのような観点からみて、私達の活動に対する穂積市長の率直なご意見・アドバイス等があればお聞かせ頂きたいです。</p> <p>さらに私達は6年間の経験を通じて、やっと、自分達自身も楽しみながら、地域の皆様方・他の活動団体・参加者の皆様とのつながりをつくることで、活動を継続していくことができると確信が持てるようになりました。そして、誇れるまちづくりのために、みんなのニーズに合った楽しい交流の場を楽しみながら作り続けていくことが、仲間を増やしていける一番の秘訣であるとも分かりました。が、人口減少の現実は厳しく、私達のみでは限界が来る日も近いかもしれないと危惧しております。</p> <p>そこで、この先も活動を継続的に行い、より魅力ある持続可能な社会を目指していくために、行政や議会の能動的な支援をお願いしたいと思います。条例の基本原則にも「市民・議会・行政が互いに</p>

	<p>情報を共有しながら、各々の活動が有効的に機能するように取り組むことの大切さ」が述べられていますので、新城市が過疎化問題に取り組む際に、これまでの私達の活動から得た経験やネットワークを活かして頂けるなら、光栄です。</p>
質 問	<p>新城市自治基本条例の中には「魅力あるまちづくりには市民が主役となって活躍できる場をつくること」が大切であると述べられていますが、私達の活動はその場を作ることができたのではないかと考えています。私達の活動に対する市長の率直な感想とアドバイスなどあれば、お聞かせください。</p>

女性議会一般質問通告書

氏名 宮原 トシコ

テーマ	新城に暮らす外国人と日本人の交流について
現状・課題 提案事項	<p>昨年の女性議会にブラジル出身の益子アドリアナさんが参加し、今ではママカフェで市役所の情報交換ができたり、ポルトガル語のフェイスブックから市の行事の情報が得られたりするようになりました。アドリアナさんが勇気を出して参加したので、私も続こうと思いいこの場に立っています。</p> <p>私は、24年前に日本に来ました。新城には14年前に来て、新城が気に入り、一軒家を建て家族で暮らしています。上の子は新城の中学校を卒業し、現在東京の専門学校に通っています。下の子も今年、中学校を卒業します。同じく東京の専門学校へ進学しようがんばっています。私は、そんな子どもたちが日本でも立派に生活できるように、これからも応援したいと思っています。</p> <p>さて、私たちブラジル人は、ブラジル人コミュニティの中で常に連絡を取り合い生活しています。日々の生活で困ったことがあればみんなで情報交換をし助け合っています。</p> <p>しかし、先日大きな被害を残した台風19号。ニュースを見ても漢字だらけでしたので、どこであの映像のような洪水が起きているのかもわからず、不安を感じていました。日本語が少しわかる私たちに、今台風はどんな状況なのか聞いてくる友達も多く、外国人の多くが不安な時を過ごしていたことと思います。</p> <p>子どもたちは学校で避難訓練をしたり、非常持ち出し袋を用意することを学んできますが、外国人のほとんどの家庭では、避難の仕方も非常持ち出し袋の存在も知りません。台風も地震もほとんど来ない国から来ましたから、何をどうしたらよいかかわからず、本当に不安です。</p> <p>私たちは、いろいろなところに住んでいるので、いざというときには、それぞれの近所の人と普段から仲良くなって、助けてもらったり、助けたりできたらと思っています。</p>
質 問	<p>(1) 日本料理教室とブラジル料理室などを開催し、料理を通してお互いの文化を学び合いながら、日本人と外国人が仲良くなれるような機会をつくりませんか。</p> <p>(2) 外国人が普段から防災意識を持てるように、外国人も参加しやすい防災訓練を実施する予定はありませんか。</p> <p>(3) 外国人にもわかりやすく災害情報を伝えてくれませんか。</p>